

大津小便り

平成二十七年五月一日(水)
文責 吉良智恵美

地震の避難訓練・町防災士さん結集



昨年は、土曜授業を利用し「総合防災訓練」を実施。今年は、避難訓練、保護者への引き渡しなど、パート毎の訓練を計画的に実施します。この日の避難の仕方は、ほめられました。

二十九日(月)に地震に備えた避難訓練を実施しました。「地震速報」で、すばやく机の下に隠れた子どもたち。地震が収まつたら急いで、運動場へ避難しました。今日は、運動場までの避難訓練でしたが、町の防災士の皆さんのが十一名も来られ、学校の仕方などについて、指導してもらいました。

六月二十日(土)に、本田技研工業の体育馆において、子ども自転車大会大津地区大会がありました。不動のチャンピオンである、阿蘇の河原小学校の胸を借りるつもりで、今年も果敢に挑戦しました。交通安全協会の松本さんと川上さんの指導を受け、練習に励んだ挑戦者たち。実技と学科(交通法規)の両方をしなければなりませんが、よく頑張つてくれました。残念ながら今年は、三位までの入賞は逃しましたが、「くやしいです。」と言う子どもたちに、確かな成長を感じました。

人生は、「挑戦」の連続で「成功」よりも「失敗」が多いのです。発明王エジソンは、「私は、失敗したことがない。ただ一万里の「うまくいかない方法」を見つけただけだ。」と話しています。挑戦を恐れず、その経験が例え「失敗」であれ、次へのチャンスに変える、そんな前向きな心の持ち様が大切なのだと思います。

「校長先生、食べてください。」と、うれん草のおひたしとゆで卵を持つててくれた五年生。家庭科の実習ですが、おいしいからです。必要的な試食ですが、おいしかったです。

子ども自転車大会・六月二十日・土



3年生の自転車教室で、模範運転を披露しました。上のようなジグザグ走行に、3年生は、大歓声でした。

生活数理「五年一組・白井学級」の巻

研究指定に係る運営指導委員の先生方十名の皆さんのお意見を、今回は全職員で聞くことで、多くの学びを得ることができました。「生活数理」の時間として扱う数字教材研究に大事なものが見えてきました。



六月二十六日(金)に、生活数理の大研を行いました。挑戦者は五年一組。題材は、菊池少年自然の家で実施予定の「Qハンティング」。フィールドワークに似たゲームです。定められたポイントに行き、そこでクイズ(Q)に答えれば、ポイントがもらえます。行く場所やクイズの難易度で、ポイントも違います。子どもたちは、地図とポイント間の距離や傾斜度などを手掛かりに、自分たちが回るルートを考えます。一時間で効率的に回りますが、場所によつては、体力が求められます。班員全員が一緒に行き着くことが出来なければ、ポイントは無効。しかも学級対抗です。どの班がどのコースを行くかなどの作戦も必要になります。当日は、各自で考えたルートと所要時間について、予想時間の正確さを相互に検証しました。